

# 高知くらしの護身術

222

## 太陽光発電導入

### 場所や値段考慮し慎重に

(2011年9月20日掲載原稿)

東日本大震災に端を発した福島第一原子力発電の事故で、わが国のエネルギー問題は大きな転換期をむかえていると言われていています。政府も地球温暖化対策、エネルギー自給率の向上を目的として太陽光発電の導入拡大に力を入れています。

しかしながら、今後住宅への導入拡大が進むとトラブルも増える可能性がありますので以下の点にご注意下さい。

【設置場所について】①設置場所は屋根が多いが、屋根自体がパネル等の重さや作業に適當かどうか②発電量はパネルの角度、地域差によるが事前に確認しているか③周囲の建物や樹木の影など発電に影響を与えるものはないか④パネルからの反射光が近隣の迷惑にならないか。

【資金について】①住宅用太陽光発電システムのkW当たり平均価格は約50万円～60万円。一般的な戸建て住宅では3～4kW規模が目安のため高額な費用負担が必要②一定の要件が満たされると補助金が交付されるが、交付されないケースもある③余剰電力買取制度もあるが設置場所や環境によって発電量は左右され補助金と買取制度で費用負担がカバーできるとは限らない。

【メンテナンスについて】①パワーコンディショナーと呼ばれる電流変換のための装置は期待寿命が10年～15年程度。数年に一度は点検し交換の必要もある②パネルに付着した通常の汚れは雨で洗い流されるが、枯れ葉、鳥のフンなどの清掃、除去は必要。

【契約について】①既に設置している人の意見を聞く②複数の販売・設置業者から見積もりを取り、価格、変換効率などを比較する。

太陽光発電の導入は高額な費用負担が必要で、長期のローンも同時契約する場合があります。契約は慎重にしましょう。